

平成 31 年度 横浜こども科学館事業計画書

1. 平成 31 年度基本方針

横浜こども科学館は、青少年の科学に関する知識を啓発し、創造性豊かな青少年の育成に寄与するために「横浜こども科学館条例」「横浜こども科学館条例施行規則」を遵守し、「横浜市子ども・子育て支援事業計画」を支援し、あらゆる世代に向けた情報発信と科学に関する拠点の役割を担います。日本で最大の政令指定都市の科学館として「みつける科学館」「つなぐ科学館」「あつまる科学館」を旗印に掲げ日本一の政令指定都市「横浜」にふさわしい日本一の科学館を目指します。また、「横浜こども科学館指定管理者選定評価委員会」から頂いた、提案・意見を事業計画に反映させ運営を行います。

(1) 「みつける科学館」

子どもたちに科学の分野での三つの心・センスとして「知りたい心」(好奇心)「挑みたい心」(冒険心)「創りたい心」(匠の心)の萌芽を発見するチャンスを提供します。科学館で出会うさまざまな展示物、科学・工作教室、催しを通じて子どもたちが「センス」に気づくことができるように助力に努めます。

(2) 「つなぐ科学館」

「子ども」と「科学」をキーワードの中核に据えて、家族・家庭と学校・地域に日常的なつながりを創りあげます。科学館は子どもたち自身が抱く疑問を懸け橋とする知的なネットワーク構築のお手伝いを一生懸命に行います。

(3) 「あつまる科学館」

横浜市の地域の力、学校の力、家庭の力によって未来から預かった大切な子どもたちを育てる恵まれた環境が科学館には結集しています。それらの横浜の街づくりの力が「あつまる場」として機能して行きます。

2. 事業計画

(1) 事業実施計画

目標数値 入館者数 325,000 人 入場者数 (プラネタリウム) 183,000 人

「より広く・より深く」をテーマに科学体験の普及・振興に貢献します。

① 科学技術に関する専門知識や最新情報イベントの開催

協力関係にある機関 (JAXA 等) の方々を招聘し子どもたちと直接会話をしてもらおう機会をつくります。

② 科学に関する体験講座や教室の開催

物理、化学、生物、地学の領域ごとの体験講座や教室を開催します。

③ 出前教室の開催

特にプログラミング教室の充実を図ります。

④プラネタリウムを使用したイベントの開催

星に関する知識を得て本ものの天文学を学ぶきっかけになるようなイベントを開催します。

⑤メディアとの連携

科学の普及のため、従来以上にメディアと連携した広報活動を強化します。

(2) 計画的な事業展

ソフト・ハードの両面の充実をはかります。

①常設展示

見直した展示物の解説サインの理解度のチェックし改善すべき点は改善を行います。

②企画展

春休み「幼児」GW「ファミリー」、夏休み「自由研究」、冬休み「学術」などをテーマに開催します。

③プラネタリウムの番組制作と投影

子どもたちが天文学を学ぶきっかけになるような番組制作と投影を行います。

④科学に関する体験講座や教室などの開催

平成 31 年度の目標数値は、開催回数 1,100 回、参加人数 19,000 名の参加を目指します。

⑤図書館

最新情報、新発見など科学に関する書籍・雑誌を幅広く取り揃えます。

⑥教育機関や他の青少年施設との連携事業

横浜市小学校理科学研究会、横浜市幼稚園協会、横浜市内青少年施設などと連携事業を開催します。

⑦科学や宇宙に関する情報収集と提供

連携機関（JAXA等）から定期的に最新情報を入手し情報提供を行います。

⑧他施設のイベント、科学体験プログラムの情報収集と提供

自然科学領域施設と相互にイベントチラシなどの配架を行います。

(3) 利用者サービスの向上

来館者目線での施設運営を行い、充実した設備、体制の中で学べる環境をつくります。

①休館日

原則第 1, 3 火曜日とし年間で休館日 31 日、開館日 335 日とします。

②照明

来館者エリア照明の 100%点灯します。

③エレベータ

平日の1台運休を解除します。

④展示フロア解説の実施

ボランティア会の協力により実施します。

⑤来館者の声を現場に反映する仕組みを作ります。

要望や苦情を現場運営に反映させサービスの向上やより快適な環境を提供します。

⑥広報活動・利用促進

来館者満足度を向上させ、来館者の利用動機の幅を広げていきます。

他都市への利用促進及び広報を行います。

(4) 地域や他機関等との連携・協働

わたしの街の科学館を目指します。

①地域行政（地元自治会等）と連携・協働し、事業の開催・参加を強化します。

洋光台サイエンスクラブ等の内容の充実を図り地域活性へ積極的に参加します。

②ボランティア会の活動を強化します。

単なる「参加の場」ととどまらず、知的レベルの非常に高いボランティアの経験・知識をフルに発揮していただく教室等を実施し参加者の学び、成長に結びつけます。

③学校、青少年関係団体や企業等との連携・協働を強化します。

横浜市教育委員会、横浜市小学校理科研究会などとの連携を強化します。

④ネーミングライツスポンサーとの連携を強化します。

「科学館の応援団」として様々な場面でバックアップをしていただきます。

⑤湘南三浦教育事務所エリアの教育委員会との連携

横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町、三浦市の各教育委員会との連携を強化し、企画展チラシ（GW、夏休み、冬休み、春休み）の児童一人1枚配布を行います。

3. 管理運営計画

これまでの経験とノウハウを活かして「日本一の科学館」を目指します。

(1) 運営体制

経験豊富な職員に加えて、有望な新人を採用し強い運営体制の確立を目指します。

①サイエンスコミュニケーターの育成・スキルアップに努めます。

外部研修等へ積極的参加しネットワークの構築や、情報収集を行います。

(2) 収支計画

①入館者・入場者の増と事業の拡大により増収を目指します。
新規事業の実施等により増収を図ります。

②無駄な支出の抑制をします。
メリハリのある支出を実行し経費削減を図ります。

(3) 施設の維持管理

戦略的維持管理の実践を通じて、安心・安全・快適な施設環境を実現します。

①施設長寿命化への取組を強化します。

予防保全の視点に立った小破修繕工事を実施します。

②省エネルギーへの取組を強化します。

横浜市、ESCO 事業者との連携によるトータルなエネルギー管理を行います。

③確実な維持管理業務を実践します。

関係法令や業務仕様書を順守した業務を行います。

④日常清掃を重視し、「施設は古いが、来館者に気持ち良く利用していただける施設」を目指します。

(4) モニタリング

PDCA サイクルを強化し、来館者の声を実現します。

①利用者モニタリング、利用者アンケートを実施します。

教室、イベント実施時にお客様の声を直接うかがい、以後の企画に反映させます。

②セルフモニタリングを実施します。

各種モニタリング指標を統計・分析し次年度の事業計画などに反映させます。

以上

平成31年度 「横浜こども科学館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	202,831,000		202,831,000		202,831,000	横浜市より
利用料金収入	122,000,000		122,000,000		122,000,000	
自主事業収入	74,100,000		74,100,000		74,100,000	
駐車場収入	2,900,000		2,900,000		2,900,000	
収入合計	401,831,000	0	401,831,000	0	401,831,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	152,020,000	0	152,020,000	0	152,020,000	
給与・賃金	152,020,000		152,020,000		152,020,000	福利厚生費、社会保険料、通勤手当等含む
事務費	43,639,000	0	43,639,000	0	43,639,000	
旅費	400,000		400,000		400,000	
消耗品費	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
会議賄い費			0		0	
広報費(媒体への掲載等)	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
印刷製本費	6,500,000		6,500,000		6,500,000	
通信費	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
使用料及び賃借料	8,840,000	0	8,840,000	0	8,840,000	
横浜市への支払分	2,370,000		2,370,000		2,370,000	
その他	6,470,000		6,470,000		6,470,000	
備品購入費	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
委託費	11,100,000		11,100,000		11,100,000	
施設賠償責任保険	100,000		100,000		100,000	
職員等研修費	500,000		500,000		500,000	
ボランティア経費	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
アドバイザーボード開催費	100,000		100,000		100,000	
謝金	100,000		100,000		100,000	
その他	499,000		499,000		499,000	
事業費	91,042,000	0	91,042,000	0	91,042,000	
教室事業	6,000,000		6,000,000		6,000,000	
企画事業	14,000,000		14,000,000		14,000,000	
屋外駐車場	4,600,000		4,600,000		4,600,000	
目的外事業	30,942,000		30,942,000		30,942,000	
展示費	15,000,000		15,000,000		15,000,000	
宇宙劇場費	20,500,000		20,500,000		20,500,000	
管理費	76,230,000	0	76,230,000	0	76,230,000	
光熱水費	17,500,000		17,500,000		17,500,000	
設備管理費・清掃費	37,200,000		37,200,000		37,200,000	
修繕費	9,600,000		9,600,000		9,600,000	
保安警備費	10,900,000		10,900,000		10,900,000	
外溝・植栽管理費	1,030,000		1,030,000		1,030,000	
公租公課	12,400,000	0	12,400,000	0	12,400,000	
消費税	12,000,000		12,000,000		12,000,000	
印紙税	400,000		400,000		400,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	26,500,000	0	26,500,000	0	26,500,000	
一般管理費	26,500,000		26,500,000		26,500,000	
支出合計	401,831,000	0	401,831,000	0	401,831,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	74,100,000		74,100,000	0	74,100,000	
自主事業費支出	57,912,000		57,912,000	0	57,912,000	
自主事業収支	16,188,000		16,188,000	0	16,188,000	
管理許可・目的外使用許可収入	36,000,000		36,000,000	0	36,000,000	
管理許可・目的外使用許可支出	2,367,000		2,367,000	0	2,367,000	
管理許可・目的外使用許可収支	33,633,000		33,633,000	0	33,633,000	

平成31年度 横浜こども科学館 小破修繕計画

※基本協定書第22条に基づく施設の修繕

NO.	工事名	概算金額	理由	修繕内容	予定時期	備考
1	照明器具修繕 工事	200,000 (100,000×2箇所)	安定器不良による不 点灯器具の修繕を 行い照明の確保	照明器具取替(取替工 事に高所足場必要)	6月	場所:1F 足場:単管組み立 て・高所作業車
2	外灯他ランプ取 替修繕工事	150,000 (50,000×3回)	不点灯時の外灯ラン プ等の取替による照 明の確保	外灯ランプ等不点灯 (取替工事に高所足場 必要)	ランプ切れ時	足場:高所作業車に よる
3	防災設備修繕 工事	900,000 (300,000×3回)	誘導灯・非常灯・ポ ンプ・ダンパー不具 合の取替え、技術基 準の改定	設備点検時の指摘に よる不具合解消(取替 え等)工事、消火器交 換	点検後 (6・1月頃)	2回/年の点検時の 不具合解消
4	空調設備修繕 工事(1)	600,000 (300,000×2回)	ポンプ・制御盤内の 継電器不具合の取 替え 冷温水ポン プ故障による 取替	設備点検時の指摘に よる不具合解消(取替 え等)工事	点検後 (6・1月頃)	2回/年の点検時の 不具合解消 前回点検後の取替 え 提案
5	消火器更改	300,000	型式廃止に伴う交換	消火器の更改	4月	
6	壁・扉からの雨 漏り修繕工事	300,000 (150,000×2回)	台風等の暴風雨時 に部分的な雨漏れ 発生	壁面の亀裂等の防水・ 扉の隙間シーリング	7・11月	4F展示室全熱空調 室
7	衛生設備修繕 工事(1)	550,000	汚水・雑排水ポン プ点検結果及び経年 30年のため老朽化し ているので順次取替 える	各種ポンプの交換	点検後 (11・3月)	2回/年の点検時の 不具合解消。常用・ 予備の交互運転の ため2台を交換する
8	衛生設備修繕 工事(2)	200,000	便器の詰まり・手洗 い配管等の修理	便器点検調整・配管取 替え等	発生の都度	緊急対応対象工事
9	建物設備修繕 工事	400,000	老朽化による部品交 換	老朽化部品交換、BA TT交換	4月	監視装置
合 計		3,600,000				